

# ここからは募集要項と看護ガイドで説明



学校法人堀井学園

横浜創英大学



# 看護学部 看護学科

## 1 看護学部 総合型選抜(資料解釈型)入学試験

### 選考基準

総合型選抜入試の選考にあたっては本学が実施する「総合問題」、「面接試験」、「書類審査(志望理由書、活動報告書、調査書)」を併せて総合評価し、下記の者を選考する。

1. 出願資格を満たし本学を第一志望とする者で、将来の目標やしっかりとした志望動機を持っているもの
2. 志望する学部・学科に関連する学力に優れ、適性・能力を有するものと認められるもの  
\* 書類審査のうち、調査書については、P.3「調査書の取り扱いについて」に準じて評価を行います。

### (1) 出 願

	出願登録期間	入学検定料払込期限
受 付	令和2年9月29日(火)～10月7日(水)15:00まで 書類郵送(令和2年9月29日(火)～10月7日(水) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日10月7日(水)は16:00まで
入学検定料	35,000円	

### (2) 試験日時・試験会場

試験日時	令和2年10月11日(日) 受付開始 8:00～ 集合 8:30 筆記試験開始 9:00～ 面接試験開始 10:30～ 面接開始時間は、受験番号により異なります。
試験会場	横 浜 創 英 大 学

### (3) 試験科目及び配点

試験科目	配点(点)	試験時間(分)
総 合 問 題	100	50
面 接	—	15
書 類 審 査	—	—

### (4) 合格発表日 合格発表については、P.23をご覧ください。

合格発表	令和2年11月2日(月)
------	--------------

### (5) 入学手続 入学手続書類等は、合格通知書とともに郵送します。

受付	期間	令和2年11月6日(金)～11月17日(火) 消印有効
	方法	入学手続締切日(消印有効)までに学納金等を振り込み、手続書類を郵送してください。

## 2 看護学部 学校推薦型公募制入学試験

### 選考基準

学校推薦型公募制入試の選考にあたっては、本学が実施する「基礎学力試験」、「面接試験」、「書類審査（志望理由書、調査書）」を併せて総合評価し、下記の者を選考する。

1. 出願資格を満たし本学を第一志望とする者で、将来の目標やしっかりとした志望動機を持っているもの
2. 志望する学部・学科に関連する学力に優れ、適性・能力を有するものと認められるもの
3. 出身学校における指定教科（国語、数学、理科、外国語）の評定平均値が、原則3.3以上であること

\* 書類審査のうち、調査書については、P.3「調査書の取り扱いについて」に準じて評価を行います。

募集定員を第Ⅰ期・第Ⅱ期とに分けて募集します。

ただし、第Ⅱ期の募集人員は第Ⅰ期の応募状況をみて決定します。

### (1) 出 願

		出願登録期間	入学検定料払込期限
受付	第Ⅰ期	令和2年11月1日(日)～11月11日(水) 15:00まで 書類郵送 (令和2年11月1日(日)～11月11日(水) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日11月11日(水)は16:00まで
	第Ⅱ期	令和2年11月29日(日)～12月9日(水) 15:00まで 書類郵送 (令和2年11月29日(日)～12月9日(水) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日12月9日(水)は16:00まで
入学検定料		35,000円	

### (2) 試験日時・試験会場

試験日時	第Ⅰ期	令和2年11月15日(日)
	第Ⅱ期	令和2年12月13日(日)
受付開始 8:00～ 集合 8:30 筆記試験開始 9:00～ 面接試験開始 10:30～ 面接開始時間は、受験番号により異なります。		
試験会場	横浜創英大学	

### (3) 試験科目及び配点

試験科目	配点(点)	試験時間(分)
基礎学力試験 (生物基礎科目のうち、人体に関する基礎的な内容を出题)	100	50
面接	—	15
書類審査	—	—

### (4) 合格発表日 合格発表については、P.23をご覧ください。

合格発表	第Ⅰ期	令和2年12月1日(火)
	第Ⅱ期	令和2年12月18日(金)

### (5) 入学手続 入学手続書類等は、合格通知書とともに郵送します。

受付	期間	第Ⅰ期 令和2年12月2日(水)～12月14日(月) 消印有効
		第Ⅱ期 令和2年12月21日(月)～令和3年1月8日(金) 消印有効
	方法	入学手続締切日(消印有効)までに学納金等を振り込み、手続書類を郵送してください。

### 3 看護学部 一般選抜入学試験

#### 選考基準

一般選抜入試の選考にあたっては、本学が実施する「筆記試験」、「面接試験」、「書類審査（調査書）」を併せて総合評価し、P15の出願資格を満たした者を選考します。

\* 書類審査のうち、P.3「調査書の取り扱いについて」に準じて評価を行います。

募集定員を第Ⅰ期・第Ⅱ期とに分けて募集します。

ただし、第Ⅱ期の募集人員は第Ⅰ期の応募状況をみて決定します。

また、「大学入学共通テスト利用入学試験」と同日併願受験をすることができます。

#### (1) 出 願

		出願登録期間	入学検定料払込期限
受付	第Ⅰ期	令和3年1月5日(火)～1月25日(月)15:00まで 書類郵送(令和3年1月5日(火)～1月25日(月) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日1月25日(月)は16:00まで
	第Ⅱ期	令和3年2月10日(水)～2月22日(月)15:00まで 書類郵送(令和3年2月10日(水)～2月22日(月) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日2月22日(月)は16:00まで
入学検定料		「一般選抜入学試験」のみ出願する場合	35,000円
		「大学入学共通テスト入学試験」を同日併願する場合	45,000円

#### (2) 試験日時・試験会場

試験日時	第Ⅰ期	令和3年2月1日(月)
	第Ⅱ期	令和3年2月28日(日)
受付開始 8:00～ 集合 8:30 筆記試験開始 9:00～ 面接試験開始 13:40～ 面接開始時間は、受験番号により異なります。 なお、「大学入学共通テスト利用入学試験」を同日併願する場合も「一般選抜入学試験」の筆記試験から受けることになります。		
試験会場	横浜創英大学	

#### (3) 試験科目及び配点

試験科目				配点(点)	試験時間(分)	
筆記	必須	国語・英語の2科目は必須	国語	「国語総合」 (古文・漢文を除く)	100	60
			英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」	100	60
	選択	数学・化学・生物の3科目から1科目を選択	数学	「数学Ⅰ」	100	60
			化学	「化学基礎」		
面接				—	10	
書類審査				—	—	

#### (4) 合格発表日 合格発表については、P.23をご覧ください。

合格発表	第Ⅰ期	令和3年2月8日(月)
	第Ⅱ期	令和3年3月5日(金)

#### (5) 入学手続 入学手続書類等は、合格通知書とともに郵送します。

受付	期間	第Ⅰ期	令和3年2月9日(火)～2月19日(金) ※消印有効
		第Ⅱ期	令和3年3月8日(月)～3月18日(木) ※消印有効
	方法	入学手続締切日(消印有効)までに学納金等を振り込み、手続書類を郵送してください。	

## 4 看護学部 大学入学共通テスト利用入学試験

### 選考基準

大学入学共通テスト利用入学試験の選考にあたっては、大学入学共通テスト受験後の「利用科目の得点」、「面接試験」、「書類審査（調査書）」を併せて総合評価し、P15の出願資格を満たした者を選考します。

\* 書類審査のうち、調査書については、P.3「調査書の取り扱いについて」に準じて評価を行います。

募集定員を第Ⅰ期・第Ⅱ期とに分けて募集します。

ただし、第Ⅱ期の募集人員は第Ⅰ期の応募状況をみて決定します。

これは大学入学共通テスト利用入学試験を利用する入試であり、受験対象者は「令和3年度の大学入学共通テスト」の受験者です。

また、「一般選抜入学試験」と同日併願受験をすることができます。

### (1) 出 願

		出願登録期間	入学検定料払込期限
受付	第Ⅰ期	令和3年1月5日(火)～1月25日(月)15:00まで 書類郵送(令和3年1月5日(火)～1月25日(月) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日1月25日(月)は16:00まで
	第Ⅱ期	令和3年2月10日(水)～2月22日(月)15:00まで 書類郵送(令和3年2月10日(水)～2月22日(月) 消印有効)	出願登録日の翌日23:59まで 最終日2月22日(月)は16:00まで
入学検定料		「大学入学共通テスト利用入学試験」のみ出願する場合	20,000円
		「一般選抜入学試験」を同日併願する場合	45,000円

### (2) 試験日時・試験会場

試験日時	第Ⅰ期	令和3年2月1日(月)
	第Ⅱ期	令和3年2月28日(日)
受付開始 8:00～ 集合 8:30 面接試験開始 9:00～ 面接開始時間は、受験番号により異なります。 ただし、「一般選抜入学試験」を同日併願する場合には、「一般選抜入学試験」の筆記試験から受けることとなります。		
試験会場	横浜創英大学	

### (3) 試験科目及び配点

試験科目				配点(点)	
大学入学 共通テスト (本学独自の 筆記試験は ありません)	必須	国語・英語の2科目は必須	国語	「国語」(近代以降の文章)	100
			英語	「英語」	100
	選択	数学・化学・生物の3科目から高得点の1科目を判定に使用	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、のいずれか1科目を選択	100
			化学 生物	理科グループ①から「化学基礎・生物基礎」の2科目、又は理科グループ②から「化学」、「生物」のいずれか1科目を選択	
面接	10分			—	
書類審査				—	

※「英語」の取扱いについては、筆記試験(200点満点)を100点に換算します。

### (4) 合格発表日 合格発表については、P.23をご覧ください。

合格発表	第Ⅰ期	令和3年2月8日(月)
	第Ⅱ期	令和3年3月5日(金)

### (5) 入学手続 入学手続書類等は、合格通知書とともに郵送します。

受付	期間	第Ⅰ期 令和3年2月9日(火)～2月19日(金) ※消印有効
	第Ⅱ期 令和3年3月8日(月)～3月18日(木) ※消印有効	
方法	入学手続締切日(消印有効)までに学納金等を振り込み、手続書類を郵送してください。	

YOKOHAMA SOEI UNIVERSITY

横浜創英大学

看護学部

看護学科

2021

# 入試ガイド

## 前年度との主な変更点

### ● 入試名称変更

- ・指定校推薦入試→学校推薦型選抜指定校制入試
- ・公募推薦入試→学校推薦型選抜公募制入試
- ・一般入試→一般選抜入試
- ・大学入試センター試験利用入試→大学入学共通テスト利用入試

### ● 新設入試制度

総合型選抜(資料解釈型)入試

### ● 募集人員の変更

- ・学校推薦型選抜公募制入試：40名→38名
- ・総合型選抜(資料解釈型)入試：新規2名

### ● 選抜方法の変更

- ・学校推薦型選抜(指定校制・公募制)入試  
「総合問題」から「基礎学力試験(生物基礎科目のうち、人体に関する基礎的な内容を出題)」に変更する。
- ・総合型選抜(資料解釈型)入試  
総合問題を行う

### ● 出願資格の変更

- ・学校推薦型選抜公募制入試：追記事項  
推薦基準は高等学校第3学年1学期(又は前期)までの主要教科(国語、数学、理科、外国語)の評定平均値が、原則 3.3 以上であること。

### ● 大学入学共通テスト利用入試

英語リスニングを追加

## 取得できる免許・資格

看護師

(看護師国家試験受験資格)

保健師\*

(保健師国家試験受験資格)

養護教諭  
一種免許\*

(教職課程科目単位取得者)

★:選択制の課程です。2つの課程を同時に履修する事はできません。

# 令和3年度選抜入試概要

募集人員：定員80名

学校推薦型選抜(公募制・指定校制)入試\* 38名 一般選抜入試 30名 大学入学共通テスト利用入試 10名 総合型選抜入試 2名

\*学校推薦型公募制入試の募集人員は、学校推薦型指定校制入試をあわせて人数になります。

## 入学検定料

総合型選抜(資料解釈型)入試  
学校推薦型選抜(公募制・指定校制)入試 一般選抜入試 35,000円  
大学入学共通テスト利用入試 20,000円  
一般・大学入学共通テスト利用同時出願 45,000円

試験会場：横浜創英大学

## 入試日程(全入試インターネット出願です)

入試種別	出願登録期間	試験日	合格発表	手続期間
総合型選抜(資料解釈型)入試	令和2年9月29日(火)～10月7日(水)15:00まで ※書類郵送 9月29日(火)～10月7日(水)消印有効	10月11日(日)	11月2日(月)	11月6日(金)～11月17日(火)
学校推薦型選抜指定校制入試 学校推薦型選抜公募制入試	I期 令和2年11月1日(日)～11月11日(水)15:00まで ※書類郵送 11月1日(日)～11月11日(水)消印有効	11月15日(日)	12月1日(火)	12月2日(水)～12月14日(月)
学校推薦型選抜指定校制入試 学校推薦型選抜公募制入試	II期 令和2年11月29日(日)～12月9日(水)15:00まで ※書類郵送 11月29日(日)～12月9日(水)消印有効	12月13日(日)	12月18日(金)	12月21日(月)～1月8日(金)
一般選抜入試 大学入学共通テスト利用入試	I期 令和3年1月5日(火)～1月25日(月)15:00まで ※書類郵送 1月5日(火)～1月25日(月)消印有効	2月1日(月)	2月8日(月)	2月9日(火)～2月19日(金)
一般選抜入試 大学入学共通テスト利用入試	II期 令和3年2月10日(水)～2月22日(月)15:00まで ※書類郵送 2月10日(水)～2月22日(月)消印有効	2月28日(日)	3月5日(金)	3月8日(月)～3月18日(木)

## 入試選抜内容

入試種別	選抜方法
総合型選抜(資料解釈型)入試	総合問題100点満点、面接試験及び書類審査を併せて総合評価し選考する。
学校推薦型選抜指定校制入試 I期・II期	基礎学力試験(生物基礎科目のうち、人体に関する基礎的な内容を出題)100点満点、面接試験及び書類審査を併せて総合評価し選考する。 出願資格 推薦基準は高等学校第3学年1学期(又は前期)までの主要教科(国語、数学、理科、外国語)の評定平均が本学部の指定値を満たす者 推薦基準は高等学校第3学年1学期(又は前期)までの主要教科(国語、数学、理科、外国語)の評定平均値が、原則3.3以上であること。 1. 2021年3月高等学校卒業見込みの者及び2020年3月高等学校卒業の者 2. 本学を第一志望とする者 3. 人物・行動について高等学校長が推薦する者
学校推薦型選抜公募制入試 I期・II期	
一般選抜入試 I期・II期	<ul style="list-style-type: none"> <li>必須科目:国語(古文・漢文を除く)、英語「コミュニケーション英語I」、「コミュニケーション英語II」</li> <li>選択科目:数学「数学I」、化学「化学基礎」、生物「生物基礎」から1科目を選択</li> <li>面接 ● 書類審査</li> </ul>
大学入学共通テスト 利用入試 I期・II期	<ul style="list-style-type: none"> <li>必須科目:国語「近代以降の文章」、英語</li> <li>選択科目:数学・化学・生物の3科目から高得点の1科目を判定に使用                数学:「数学I」、「数学I・数学A」のいずれか1科目を選択                化学・生物:理科グループ①から「化学基礎・生物基礎」の2科目、又は理科グループ②から「化学」、「生物」のいずれか1科目を選択</li> <li>面接 ● 書類審査</li> </ul>

出願資格(共通) 次の1～3のいずれかに該当する者。

- 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2021年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2021年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2021年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当するもの。
  - 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
  - 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - 文部科学大臣の指定した者
  - 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者(大学入学資格検定規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)
  - 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
  - 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもので、



# 総合型選抜(資料解釈型)入試で実施する「総合問題」について

## 出題の基本方針

解くのではなく、考えることに重点を置いた問題を出題します。図や表から、そこにある情報を読み取る力が試される問題であり、それについて自分の考えたことを文章で表現する力をみる問題ということになります。設問数は5問程度で、選択式と記述式(計算も含む)の両方です。

前年度(令和2年度入学生用)指定校・公募推薦1期の出題内容  
医学研究や保健統計などを題材にした問題が出題されました。

### 問題

6月のある日に、立食パーティーが催された。パーティーでは、好きなものを自分でとって食べる方式であった。参加者は200人で、夕方から2時間程続いた。翌日の朝から強い腹痛と水様性の下痢を訴える人が出始め、合計90人が医療機関を受診し、食中毒と診断された。

最寄りの保健所が直ちに食中毒の原因食品を突き止めるために、パーティー参加者全員に喫食状況の聞き取り調査を行った。

次の【表1～8】のクロス表は、食中毒発病者と非発病者の喫食状況を示したものである。このクロス表を参考にして設問に答えなさい。

なお、このデータは全て仮想のものである。

(注)喫食：食べる(飲むを含む)

【設問1】ゆでであるポテトが原因食品である可能性について説明しなさい。

【設問2】今回の食中毒の原因食品として最も可能性のある食品はどれか。食品名で答えなさい。

【設問3】設問2で答えた食品はどのような根拠によるものか説明しなさい。

【設問4】今回の食中毒の原因菌として最も考えられるのはどれか。【表9】の中から1つ選び、原因菌の名称で答えなさい。また、その根拠を説明しなさい。

【設問5】食中毒を予防するにはどうすればよいか、あなたの考えを述べなさい。

【表1】ゆでであるポテトの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	63	27	90
非発病者	77	33	110

【表2】ビーフステーキの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	72	18	90
非発病者	70	40	110

【表3】ゆでである人参の喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	60	30	90
非発病者	66	44	110

【表4】パンの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	52	38	90
非発病者	68	42	110

【表9】食中毒の原因菌の特徴

原因菌	特徴
ブドウ球菌	化膿創、手指に分布。潜伏期間は約3時間
サルモネラ菌	家畜などに分布。潜伏期間は1日～3日
腸炎ビブリオ	真水には分布しない。潜伏期間は12時間前後
病原性大腸菌	多数の食品、井戸水に分布。潜伏期間は1日～数日

【表5】米飯の喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	54	36	90
非発病者	66	44	110

【表6】ハムのサンドイッチの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	30	60	90
非発病者	22	88	110

【表7】鯛の刺身の喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	81	9	90
非発病者	11	99	110

【表8】コーヒーの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	61	29	90
非発病者	70	40	110

# 学校推薦型選抜(指定校制・公募制)入試の筆記試験「基礎学力試験(生物基礎科目のうち、人体に関する基礎的な内容を出題)」について

## 出題の基本方針

看護学では、健康な人の身体や心、生活などについて多面的に学びます。そして、健康を障害された人の病態や生活、その支援方法について、さらに深く学んでいきます。看護学を学ぶ基礎として、人の身体のしくみや働きを理解しておくことは大切です。

学校推薦型選抜入試では、「生物基礎」の範囲から人体に関する基礎的な内容を中心に出题します。

教科書の用語を暗記するだけでなく、言葉の意味を理解してください。教科書や参考書に載っている図、表、グラフ、写真などと用語の説明文章とを関連させながら理解していくと良いでしょう。身体の名称や働きを示す言葉には、それぞれ意味があります。説明できる力を期待しています。

看護学を学ぶにあたり、人の身体に興味をもって、理解を深めていただければと思います。



# 面接試験について

## 評価のポイント

看護学部では、全ての入試で面接試験を実施します。年々多様化していく医療現場において、看護師が求められるニーズは幅広く、かつ複雑になっています。これらに対応できる人材かどうか、学力以外に「人間性」「社会性」「対人能力」を面接試験で確認いたします。

面接時間は総合型選抜、学校推薦型選抜では15分、一般選抜、大学入学共通テスト利用入試では10分で行います。

## アドバイス

面接では、志望動機や勉学に取り組む姿勢、高校時代にがんばってきたことなどの質問の他、態度や言葉遣いなど、看護師としての資質が備わっているかなどの確認もいたします。

質問に対する回答は、「一般的な面接時の回答」などを丸覚えするのではなく、自分の言葉で話すように心掛けてください。笑顔も重要です。面接官の目を見て、ゆっくりと丁寧にお話することをお勧めします。

# 調査書の取り扱いについて

横浜創英大学における令和3年度入学者選抜は、本学の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価することを基本とし、各入試区分の選抜方法によって行うこととします。看護学部の調査書の取り扱いは全入試とも以下の通りとします。

**看護学部** 下記1から9の項目に、看護学部のアドミッション・ポリシーに関する記述があった場合、それを積極的に評価する

1. 学習成績の状況（現行の評定平均値）
2. 出欠状況
3. 各教科・科目及び総合的な学習の時間の学習における特徴等
4. 行動の特徴、特技等
5. 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等
6. 取得資格・検定等
7. 表彰・顕彰等の記録等
8. 特別活動の記録
9. 大学が調査書の備考欄に記載するように求める事項
  - (1) 看護への関心の高さ
  - (2) コミュニケーション力
  - (3) 自主的な学習への取り組み

### 看護学部のアドミッション・ポリシー

- 看護に関心があり、保健医療福祉分野に貢献したいと考えている人
- 人と関わるのが好きで、他者の気持ちを重んじる態度を備えた人
- 看護職者に求められる基礎的な知識や態度を有し、自己の課題に積極的に取り組む人

# OPEN CAMPUS 2020

大学の雰囲気を知るにはオープンキャンパスが一番！積極的に参加することをおすすめします。

## 春のオープンキャンパス

13:00~16:00

3/21  
saturday

4/19  
sunday

5/17  
sunday

6/14  
sunday

## 夏のスペシャルイベント

11:00~16:00

7/5  
sunday

7/19  
sunday

8/7  
friday

8/8  
saturday

8/22  
saturday

## 秋のオープンキャンパス

13:00~16:00

9/12  
saturday

10/4  
sunday

11/8  
sunday

11/22  
sunday

## 入試相談会

11:00~14:00

10/17  
saturday

10/18  
sunday

# 先輩からの入試アドバイス

## 指定校推薦入試

看護学部 2年 武藤 彩加 さん  
神奈川県立金井高等学校 出身



高校1年生から指定校推薦入試を意識してきました。この入試は、評定基準が設定されているので基準をクリアする努力を続けてきました。毎朝ニュースを数分見るなど、負担が少なく長く続けることができることを実践した結果、学力や一般的な知識をつけることに繋がりました。

オープンキャンパスには参加することができなかつたため、個人的に連絡を取り、学校の説明や設備の見学をさせていただきました。その際、対応をくださった職員の方々の優しさや丁寧さに惹かれました。面接では、なぜ看護師になりたいのか、どのような看護師を目指すのか、自分の長所や考えていることを伝える練習をしました。また、面接の対策ノートを作り、話す内容に厚みをつける努力もしました。

筆記試験は総合問題\*でした。医療に関係のある新聞記事を集め、自分でその内容を要約し意見等をまとめ、それを高校の先生に添削をもらう事を繰り返しました。知識が不足していると文章を作成することに苦戦すると感じました。この分野でよく使われる言葉の意味を理解して整理することは、受験対策の1つとなると思います。

私が受験をして感じたことは、幅広い視点が求められるということです。看護以外の様々な分野の知識や考えを持つことも重要だと思います。受験を考えている高校生の皆さんが、自分の思い描く大学生活を送ることができるよう応援しています!頑張ってください。

\*総合問題は、令和3年度より総合型選抜(資料解釈型)入試で実施いたします。

## 公募推薦入試

看護学部 2年 正田 妃和 さん  
神奈川県立湘南台高等学校 出身



私は高校1年生の夏頃から、付属病院を持つ大学ばかりに目を向けていました。確かにそれらの大学はとても規模が大きく、施設もとても綺麗です。しかし、それには代えられない大切なことを、この大学で見つけました。それは学生と先生の距離が近く、とても親身になってくれるところです。また、閑静な住宅街に位置していることから、とても穏やかな校風といえます。落ち着いて、自分のペースを大事にしながら勉強に励めることにも魅力を感じました。さらに、付属病院がないということは、様々な病院での実習が可能になり、その分沢山の経験が積めるという先生のお話にも感銘を受けました。

私が受験した公募推薦の総合問題\*は、「濃く短くまとめる力」を試されたように感じました。自分の考えを文章化できるよう、一つの記事について意見を書く練習をすると、良いと思います。面接は素直な考えを大切にしてください。面接官と受験生という関係ではありませんが、先生はとても優しく親身になって話を聞いてくれます。落ち着いて自分が伝えたい事を話してください。

国家試験に向けて切磋琢磨する4年間。ここでなら頑張れるという理由を大学選びのときに是非見つけてください。穏やかな校風で、先生の優しさや助けをもらいながら国試に挑む学生生活を送ってみませんか?そして、私たち共々、新入生の入学を楽しみにしています。一緒に看護師になるために頑張ってください!!

\*総合問題は、令和3年度より総合型選抜(資料解釈型)入試で実施いたします。

## 一般入試

看護学部 2年 三森 風美歌 さん  
神奈川県立厚木東高等学校 出身



受験をしたきっかけは、先輩が通っていたことと、看護師だけでなく保健師の受験資格から養護教諭の免許まで、幅広く職種を選択できることに魅力を感じたからです。受験勉強は高校3年生の春から本格的に開始し、塾にも通い始め、特に英語と理科科目を強化してきました。

受験科目は、国語・英語・化学でした。英語は、苦手としていた長文問題を克服するために、まず単語の暗記から取り組みました。音読しながら発音記号を頭に思い浮かべると覚えやすいと思います。また長文問題の文中の分からない単語に印をつけ、後で確認するという方法はとても良かったと思います。さらに友達と問題を出し合うのも効果がありました。

化学は、問題集を繰り返し行いました。暗記よりもどれだけ計算が理解できるかが重要で、計算問題を多くこなすのが良いと思います。また、化学の計算はやり方が1つではないため、解くコツを見つけられると、複雑な計算も解けるようになっていくと思います。

国語は、文章問題では、重要だと思った言葉に線やマークをつけることで、見返したときに分かりやすくなりました。また、問題は最初じっくり読んで理解してから取り組むと、スムーズに解くことができました。

一般入試は、最後まで問題と向き合う入試方法ですが、大学に入ってからその「頑張れる力」や「粘り強さ」はとても役立ちます。そして何より、今しかできないこの受験を楽しんでください!

## センター試験利用入試

看護学部 2年 坂本 咲希 さん  
私立横浜隼人高等学校 出身



この大学を受験した理由は、「保健師の受験資格も得られる」、「横浜市内の大学で自宅から通いやすい」ということでした。保健師になりたいという夢があり、入学後にしっかりと勉強ができる環境を考えて、自宅から近い大学というのはとても魅力的でした。高校2年生で受験を意識し、3年生の9月頃までは基礎固めと、苦手科目の克服に重点を置いて勉強をしました。予備校にも通い、授業が終わった後も自習室で勉強しました。

試験対策としては、センター試験の問題形式に慣れるために、数年分の過去問と予想問題を解きました。間違えた問題は、解説や高校の教科書、問題集などで理解し、また正解した問題も、正解以外の選択肢について確認するなど、問題ひとつひとつを丁寧に確認しました。センター試験は正確に素早く解くことが要求されるため、本番を想定し時間配分を設定して問題を解く練習もしました。入試直前は、問題の復習と苦手分野の知識の確認に時間を費やしました。

面接対策では、自己分析と、将来どのような看護師、保健師になりたいかを具体的にまとめました。また、新聞を毎日読み、医療に関する記事や自分の興味をもった記事をスクラップしていました。新聞を読むことは、語彙力や読解力のアップにも繋がりますのでおすすめです。

受験は孤独で不安な気持ちになりますが、受験勉強で得られた知識は大学の様々な授業で活かされます。最後まで粘り強く頑張ってください。

# 一般選抜入試

各科目ごとの出題傾向・出題内容をよく理解し、一般選抜入試に臨みましょう。

## 英語 English

### 出題の基本方針

高等学校までの学習内容をどの程度修得しているかを確認するための問題が中心となります。「発音・アクセント」「語彙」「文法」「長文読解」などで例年構成されますが、年によっては「会話表現」が出題されることがあります。なお、「リスニング」は出題されません。

### 昨年度の出題内容・分野について

「発音・アクセント」「語彙」「文法」に関するパートは、選択肢から正答を選び記号で答える形式となっています。「長文読解」のパートは、長さが300語程度の新聞記事から出題され、記述式（英文和訳）の問題が含まれます。

### 注意事項とアドバイス

「発音・アクセント」や「文法」の問題に関しては、一般的な大学受験向けの参考書を中心に学習すれば十分です。高校生が知っておくべきベーシックな単語や文法が例年出題されます。なお、「アクセント」の問題は、「最初の音節をもっとも強く発音する語を5つ選ぶ」という形式が多いため、「音節」という言葉の意味を理解しておいてください。

「長文読解」の問題文は、新聞記事から出題され、日頃から社会の動向などに関心を向け、日本語でも構わないので新聞によく目を通しておくとういことです。記事の内容を予め知っている、例えば英字新聞の中に知らない単語が含まれていても、比較的スムーズに読み解くことができます。トピックとしては、保健・環境・時事問題などが多い傾向にあります。試験前1年以内の社会情勢に特に注目しておくとういでしょう。

## 国語 Japanese

### 出題の基本方針

高等学校の学習内容に準拠し、その学習を通じて得られる国語力に応じた出題を基本としています。文章の構成や展開、論点などを正確に把握する能力や、表現の仕方などを理解する能力を確認することが目的となります。

### 昨年度の出題内容・分野について

「現代文」が出題されます。漢字の読み書きや語句の意味、文章の内容を問う問題などで、記述形式のものも含まれます。長文問題は基本的に「評論文」です。ぜひ評論文に慣れておいてください。昨年度は現代の人々が直面している諸問題に対してどれだけ関心を持っているかということが問われました。

### 注意事項とアドバイス

評論文に慣れる方法としては、新書や一般文芸誌の評論をたくさん読むことがよいでしょう。国語の教科書に載っているような評論家が、他に発表している文章などを読むことも勉強になります。社会に対するさまざまな視点を知っておくことが大切です。

設問に答える際には、何が求められているのかをしっかりと理解することが重要になってきます。答えは問題文（長文）の中に必ずありますので、注意深く読んでください。また、記述形式の問題は、箇条書きや単語だけで答えるのではなく、文章で答えるようにしてください。例えば「何文字以内で説明しなさい」というような問題であれば、主語・述語を合わせ、「～ということ。」と、きちんと文末まで書いてください。もしわからなくても、諦めずに、文中の語句を使いながら最後まで書ききることを心掛けてください。

また、文章の読解力とは別に、漢字・文法・慣用語（慣用語表現）の知識を問う問題も出題されます。漢字は部首や熟語の構造、文法は現代文法など、小・中学校で学習した内容も含まれますので、再度確認しておきましょう。

# 数学 Mathematics

## 出題の基本方針

出題範囲は数学Ⅰで扱われている内容に基づいて出題されています。ほとんどの問題が高校の教科書レベルで、一部の問題が大学入学共通テストレベルです。

## 昨年度の出題内容・分野について

例年、大問が4つ出題されています。「因数分解や式の展開」「方程式や連立不等式」「二次方程式」「対称移動」「三角関数」「データの分析」から出題されています。

## 注意事項とアドバイス

教科書や問題集の例題や練習問題を繰り返し解くことが必要です。2次関数のグラフについて、軸や頂点などの理解と共に、グラフを描けるようにしておくことが必要です。正弦定理や余弦定理の基礎だけでなく、応用問題も解けるように準備しておきましょう。四分位数や四分位偏差、分散、共分散などの統計量を理解するだけでなく、実際に計算できるように繰り返し練習しましょう。記述式の問題も出題されており、式など途中点が与えられることがありますので、導出の過程を丁寧に回答するようにしましょう。

# 化学 Basic Chemistry

## 出題の基本方針

出題範囲は化学基礎で扱われている内容に基づいて出題されています。ほとんどの問題が高校の教科書レベルで、一部の問題が大学入学共通テストレベルです。また、基礎問題・標準問題から出題されており、取り組み易い問題となっています。

## 昨年度の出題内容・分野について

教科書で扱われている内容から満遍なく出題されています。出題の対象は「原子とその構造」や「イオン」、「周期表」、「化学結合」、「原子量や分子量」、「化学反応式」、「酸・塩基」、「水の電離や中和反応」、「酸化剤と還元剤」、「酸化還元反応」などです。有機化合物の燃焼についての問題が頻出しています。燃焼についての反応式や計算についてよく理解しておきましょう。

## 注意事項とアドバイス

しっかりと教科書を理解し、教科書の練習問題や演習問題を繰り返し解くことが必要です。知識を問う問題と計算問題が出題されています。計算問題は基本的な計算が多いので、しっかりと理解して計算間違いがないように気をつけましょう。

# 生物 Basic Biology

## 出題の基本方針

「生物基礎」からの出題を基本としていますが、教科書に書かれている内容を暗記していれば解ける問題だけではなく、教科書の知識を前提として自分自身で考える必要のある問題も出題されています。

## 昨年度の出題内容・分野について

出題された問題数は5問です。I期「細胞の構造」「遺伝子発現」「免疫細胞」「循環系」「食物連鎖」、II期「細胞と細胞小器官」「代謝」「酵素反応」「内分泌系」「窒素循環」でした。

## 注意事項とアドバイス

選択肢からの記号選択だけではなく、正確な漢字やカタカナでの記載を求めるものが出題されています。基本的な生物学用語については正確に書けるようにしてください。また、科学的な思考力を問う論述問題も出題されていますが、生物基礎の学力があれば解答できる内容です。設問はヒトに関する生理、生化学的な内容が多く含まれますが、広い領域から出題されるので、偏りなく勉強してください。



# 入試データ

(指定校推薦入試は除く)

入試名称	期	平成30年度						平成31年度						令和2年度											
		志願者			合格者			倍率	合格最低得点率(%)	志願者			合格者			倍率	合格最低得点率(%)	志願者			合格者			倍率	合格最低得点率(%)
		計	女	男	計	女	男			計	女	男	計	女	男			計	女	男	計	女	男		
公募推薦 入学試験	I期	34	30	4	15	14	1	2.3	-	25	23	2	24	22	2	1.0	-	27	25	2	12	10	2	2.3	-
	II期	13	12	1	9	9	0	1.4	-	10	10	0	7	7	0	1.4	-	13	13	0	3	3	0	4.3	-
一般入学試験	I期	122	107	15	98	89	9	1.2	45.5	152	137	15	110	102	8	1.4	53.0	129	110	19	91	78	13	1.4	46.0
	II期	19	17	2	3	3	0	6.3	64.2	25	22	3	2	2	0	12.5	80.0	23	17	6	1	1	0	23.0	85.5
大学センター試験 利用入学試験	I期	87	81	6	66	61	5	1.3	42.2	104	94	10	72	66	6	1.4	50.2	94	91	3	69	68	1	1.4	45.0
	II期	3	3	0	0	0	0	-	-	13	12	1	2	2	0	6.5	72.0	4	4	0	0	0	0	-	-
合計		278	250	28	191	176	15			329	298	31	217	201	16			290	260	30	176	160	16		

※合格最低得点率は、一般入試・センター利用入試に関して、400点満点に対する得点率です。 ※補欠合格は数値には含んでおりません。 ※入試名称は前年度までの名称で掲載しております。



# 入学者データ

## 沿線

JR横浜線……………18%	JR東海道線……………3%	京王線……………1%
小田急線……………16%	JR相模線……………2%	その他……………5%
京急線……………10%	京王井の頭線……………2%	
東急田園都市線……………9%	東急東横線……………2%	
相鉄線……………7%	JR横須賀線……………2%	
JR南武線……………6%	JR信越本線……………1%	
市営地下鉄……………6%	JR鶴見線……………1%	
JR京浜東北線……………4%	JR根岸線……………1%	
JR中央線……………3%	東急多摩川線……………1%	

## 都道府県

神奈川県……………78%
東京都……………14%
新潟県……………2%
秋田県……………1%
山梨県……………1%
大阪府……………1%
兵庫県……………1%
愛媛県……………1%
沖縄県……………1%

## 男女比

女性……………93%
男性……………7%



# 就職状況

※令和1年度実績

## 看護師就職先

国際医療福祉大学三田病院	厚木市立病院	あづみ病院	愛光病院	聖隷沼津病院
昭和大学病院	川崎市立井田病院	伊勢原協同病院	池上総合病院	鶴巻温泉病院
聖マリアンナ医科大学川崎市立多摩病院	川崎市立川崎病院	けいゆう病院	板橋中央総合病院	東名厚木病院
聖マリアンナ医科大学東横病院	平塚市民病院	済生会横浜市東部病院	海老名総合病院	日向台病院
東海大学医学部付属病院	大和市立病院	相模野病院	金沢病院	大和徳洲会病院
東京医科大学八王子医療センター	横浜市立市民病院	相模原病院	工藤医院	横浜旭中央総合病院
東京医科大学病院		東京ベイ浦安市川医療センター	国際親善総合病院	横浜新都市脳神経外科病院
東京女子医科大学病院		平塚共済病院	汐田総合病院	
東邦大学医療センター大森病院		横須賀市立うわまち病院	湘南鎌倉総合病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター		横須賀共済病院	成仁病院	
横浜市立大学附属病院		横浜南共済病院		

## 保健師就職先

平塚市役所
横浜南共済病院



http://www.soei.ac.jp

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町1番地  
 TEL.045-922-5641(代)[入試課]  
 FAX.045-922-5642  
 E-mail nyushi@soei.ac.jp

お問い合わせはこちら

